

兵庫県加東郡滝野町方言の副助詞

黒崎 良昭

I. はじめに

1. 調査対象地：加東郡滝野町は、兵庫県南部のほぼ中央にあり、加古川の中流域に位置する。古く加古川が舟運に利用されていた頃は、米や材木、日用品の集散地として栄え、あるいは飛船の景勝地として京阪神から多くの遊客を集めていたという。現在は、町の南部を通る中国自動車道を利用すれば、滝野・社インターチェンジから大阪の中心部まで約1時間という便利さから、町郊外に大規模な工業団地ができ、小規模マンションや一戸建て住宅が急増している。その結果、周辺の市町が過疎化を見せているにもかかわらず、町外からの人口流入が増え、ここ5年間で1割以上の伸びを示すほどである。現在の人口は1万1千人余りである。
2. 調査年月日：1998年2月6日
3. 話者：梶原ちづゑ（大正15年6月生まれ（71歳））
4. 調査者・調査場所：黒崎良昭、話者自宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：カタカナによる音声表記とする。アクセントは高音部に上線を付して示した。回答文についての話者の説明は（ ）で括り、調査者の解釈や調査の仕方については< >で括った。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加 《さえ・も》

1. 雨だけでなく風さえ出てきた。 ○アメダケヤ アーテ カゼ {①スラ<古>②モ<新>} デテッタ。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○コトシワ ホーサクデ コメ {①バッカリヤ アーテ②バッカリヤ チシニ} ムギ {①モ ②カテ<強調>} ヨー トレタ。

B. 予想外の事実 《さえ・だけ》

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○シヨウガクセー {①デモ ②ヤッタッテ} カンタンニ ワープロ ツコ (一)トル。
4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○アタルトワ オモトラナンダダケニ ウレシオマシタ ガイナー。

C. 条件 《さえ》

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ○ヒマガ アッタラ ツリニ イットリマスワ。

＜タラを強く言うことによってサエアレバの意味を表す＞

D.例示 《でも・ほど・まで・まど・やら・なり・なんて》

6. まあお茶でも飲んでください。 ○マー オチャナト ノンドクンナハレ。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。 ○ミヤゲヤッタラ コノ マンジュ
(一) {①ナンドガ<古> ②ナンカ<新>} ドナイヤロ ナー。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○オモワズ トビアガルホド ウレシオマ
シタ ワ。
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マサカ アントニマデ ハ
ナシガ イクトワ オモワナンダ ワ。
10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○ {①ナグツリヤラ ケツリヤラノ<古>②ナグッタリ ケツタリノ<新>} ランポー ショッタ デー。(当該地域では、ナグルヤラがナグツリヤラになったり、丸山・内山(姓)がマツリヤマ・ウッチヤマになるように、促音化・拗音化の傾向が著しい)
11. 私になり相談してくれればよかったのに。 ○ワタシンデモ ソーダン シテク
レタラ ヨクッタノニ。(ワタシニがワタシンに変わるように、撥音化の傾向も著しい)
12. 野菜なんていくらでもできる。 ○ヤサイ {①ヤナンド<古> ②ナンカ<新>③ヤナンカ<新>④グライ<新・強調>} ナンボデモ デケル デー。

一対の語の例示 《だって》

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○ショージュ {①ヤッタテ ミツヤ
ッタテ<古> ②カテ ミツカテ<新>③ヤッタカテ ミツヤッタカテ<新・強調>}
ツクットタンヤー。

択一 《なり》

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 ○ { ①ワタシナリ オトートナリガ ②
ワタシカ オトートガ<若>} テッタイニ イキマッ セ。

例外でない 《とて》

15. 村長とて、そうするより仕方がなかったんだらう。 ○ソンチョー {①ヤッタテ<古>②カテ<新>③ヤッタカテ<新・強調>} ソナイ スツリヨリ ショガ ナカッタ
ンヤロ。

列挙 《なり》

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハルラシ ナツテ {①ウメモ
サクラモ<共通語的>②ウメカテ サクラカテ} イッペンニ サイタ。

同類の暗示 《も》

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テレビ {①ヤッタテ<古>②カテ<新>} ソロ
ソロ カイカエヨ (オモテマン ネン。)

やわらげ 《でも》

18. まあお茶でも飲んでください。 ○マ^ー オチャナト ノンドクンナハレ。

E. 包括 《など》

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ○ボン ナッタラ マゴ {①ナンド②ラ (一)} ガ モーッテ クン ネン。

F. 提題

20. ゲートボールだってできるよ。 ○ゲートボール {①ヤッタテ<古>②カテ<新>} デケマッ セ。

話題にあげる 《って》

21. 何だい、いいことって。 ①ナンヤイ(ナンダイ) ナ^ー。エ^ー コト テ^ー。 <一般的>/②ナンヤ^ー。エ^ー コト ユ^ーテ。 <若>

極端なもの の 提示 《でも・くらい・すら・も》

22. そんなこと子供にでもできるよ。 ○ソ^ンナ コト {①コドモヤッタテ<古>②コドモンデモ} デケル デ^ー。

23. 食べることにぐらひは何とかしたい。 ○タベル コトグライ ドナイド シタイ。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナマエモ ロクスッポ オボエトラヘン。

(ロクスッポは男言葉で中高年層に用いられる。)

25. 弁当代に千円もかかった。 ○ベント^ーダイニ センエンモ カカッタ ガイナー。

軽いものをあげる 《さえ》

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレ {①サエ<古>②ガ<新>} アッタラ モ^ー ベッチョナイ。

(2) 分量・程度・基準をあらわすもの

G. 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあけた。 ○リョ^ーコーデ ミッカ {①バカリ②ホド} エ^ー アケマシタ。 <バカリを使うとインガリシタ(堅苦しい)感じになる。 >

28. 茶碗に半分ぐらひください。 ○オチャワンニ ハンブンホド オクンナハレ。

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だよ。 ○コドモ {①ヤッタテ<古>②カテ<新>③ヤッタカテ<新・強調>④ニ(ン)デモ<共通語意識>} ワカルグライノ ナヤスイ ホンヤ デ^ー。(他に、ヤテ、ヤッテ、カッテ、ヤッタッテなどの類似表現も聞かれる。)

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ○イッシュ^ーエーカンホド エ^ー アケルサカイ タノンマハ ナ^ー。(マハナーはマスワナーの転じたもの。)

H. 基準 《ほど》

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コトシノ サムサワ キョネンホド {①ニ

ワ<古>②ヤ} ナイ。

I.理由 《ばかり》

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○チート ウッカリ
シトッタバッカリニ エライ コトニ ナッデモター。

J.「それにふさわしく」

33. 苦勞しただけあって人間ができています。 ○クロー シタッタダケ アッテ ニ
ンゲンガ デケトル。(シタッタには軽い敬意が含まれている。)

形式名詞的用法 《なんか》

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○マイニチ マゴノ モリヤ {①ナンドデ<古>
②ナンヤデ<古>③ナンカデ<新>} イソガシー。<忙しさの原因を特定しない場合
には、「コノゴロ ナンヤカヤデ イソガシー。」などという言い方をする。>

「それこそ」 《こそ》

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ソレコソ バケツ ヒッ
クリカエシタヨーナ アメヤ テー。

「～ばかりか」 《ばかり》

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○オトーチャンダケヤ オモトッタラ オカ
ーチャンモ ウンドーガ スキヤッテン テー。

K.今にも行われる 《ばかり》

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー (イツデモ) タベラレッリヨーニ シ
トル。

動作の完了直後 《ばかり》

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○インマ シゴトカラ モーッテッタ {①パッ
カリ<古・強調>②下コ} ヤ。

基準 《まで》

39. 駅までもうちょっとだ。 ○エキマデ モー チョットヤ。

L.等量の反復 《ずつ》

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリズツ ヨンデ ハナシ シタ。

M.等量の配分 《ずつ》

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒトリニ フターツズツ ミカン アゲル。

(3)限定・限界などを表すもの

N.限定 《しか・だけ・ばかり・きり》

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サケワ タンマニ {①ヨリ<古>②シカ<新>} ノ
マヘン。

43. 今朝は寝坊をしてパンだけを食べてきた。 ○ケサワ アサネ シデモテ パン

ダーケ タベテッタ。

44.そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソナイニ ベンキョーバツカリ シトツタラ カラダニ ドツキヤ デー。

45.うちの田が残っているきりで、よそのは全部終わった。《田植えのこと》 ○ウチ ノ ターガ ノコットンダケデ ヨソノンワ ミーンナ シモトツテヤ。

O.強調 《しか・こそ》

46.もうこれだけしかないよ。 ○モー コンダケ {①ヨリ<古>②シカ<新>} ナイ デー。

47.今年こそいい年にしたい。 ○コトシコソ エー トシニ シタイ モンヤ。

P.限界 《だけ・まで》

48.これだけ言っても分からないのか！ ○ {①コエダケ②コレホド<強調>} ユーテ モ ワカラヘン ノカ。

49.2千円くらいまでなら何とかなる。 ○センエングライマデヤッタラ ナントカ ナル ワー。

(4)陳述的なもの

Q.「～ば～だけ」 《だけ》

50.肥料をやればやるだけよく育つ。 ○コエ ヤッタラ ヤッタダケ ヨー ソダ ツ。 <「ケーコ スラ スルホド ジョーズン ナル。」のような言い方も老年層で使われている。 >

「假定形・ば・こそ」 《こそ》

51.心配すればこそ言うんだ。 ①シンバイ スラコソ ユーネヤ。 <今は減多に使わない>/②シンバイ スッサカイ ユーネヤ ナイ カ。

「こそ・假定形」 《こそ》

52.彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○アノ ヒトワ ヨー モンク ユーケンド ヒトノ ユー コトワ チョットモ キカヘン。

53.「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。 <次のような用例が老年層の間でまれに聞かれる。①アンタガ ユーテクレタッタコサレ タスカリ マシタ ワ。【あなたが言って下さったおかげで助かりましたわ。】/②マゴガ アルコサレ エーン ナカガ ミンヤカデ ヨロシ ワ。【孫がいるからこそ家の中が賑やかで結構ですよ。】 >

「未然形・ば・こそ」 《こそ》

54.押しても引いても動かばこそ。 ○オシテモ ヒーテモ ゼンゼン ウゴカヘン ワー。

「～こそ。」 《こそ》

55.失礼なことを言わないでこそ。(意味がよく分からないが、次のような意味か?)

○シツレーナ コト イワソトイテクンナハレ。

「～こそ～が」 《こそ》

56.今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。○イマデコソ エーカラ

デヤヘンケド ムカシワ ヨー デアルッキョッタ モンヤ。

「～ば～ほど」 《ほど》

57.働けば働くほどもうかる。○{①ハタライタラ ハタラクホド<古>②ハタライ

タラ ハタライタダケ} モーカル。

R.打ち消しとの呼応

58.村長に聞くまでもないことだ。○ソソチョーニ キクマデモ ナイ コツチャ。

否定との呼応(それさえもない)《も》

59.朝から忙しくて昼食も食えない。○アサカラ イソガシーテ ヒルゴハン {①

スラ<古・強調>②モ<新>} タベテ ナイ。

否定的取り上げ 《など》

60.こんなものなどいくらでもあるよ。○コンナ モンヤッタラ ナンボデモ ア

ソ デー。

全面否定 《だって》

61.誰だってそんなことを言われたら怒るよ。○ダレ {①ヤッタテ<古>②カテ<新>

③ヤッタカテ<新・強調>④デモ<共通語意識>} ソソナ コト ユワレタラ オコ
ル ワー。

S.次の動作が不可能 《きり》

62.10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。○ジューネンマエニ ク

ニ デタ {①ナリ<古>②ママ<新>③キリ<共通語意識・強調>} イッペンモ インド
ラヘン。

(5)モダリティー的なもの

T.不確かな気持ち 《やら・か》

63.いつのまにやら眠ってしまった。イツノ {①マンヤ<古>②マニカ<新>} ネテ

モタ。

64.何のことやら分からない。①ナンノ コツチャラ ワカラン。<古>/②ナンノ

コトカ ワカラヘン。<新>

推定 《か》

65.後で遊びに行くかもしれない。○アトデ アソビニ イッカモ シレヘン。

どちらか分からない。《やら》

66.来るのやら来ないのやらよく分からない。○クソネヤラ キヤヘンネヤラ(コン

ネヤラ) ヨー ワカラヘン ネン。

はっきり言わない 《やら》

67.どこへやら引っ越したそうだ。○ドッキャラ ヤオツリ シタッタツーヤ。(シタッタはシタの尊敬表現であるが敬意は低く、このような場合にも普通に使われる表現である。「ドッキャラ」は「ドコヤハン(ドッキャハン)」とも言い表される。この疑問詞に後接する「ヤハン」は、「ダレヤハン、ドコヤハン、イツヤハン、ナンヤハン」の形でよく聞かれる。)

U.非難 《たら・てば》

68.お父さんたら今日も遅いのね。○オトーサンユータラ キョーモ オソイ ネンチー。

69.お父さんてば、子供のようなことを言って。○オトーサンユータラ コドモミタイナ コト ユータ。/オトッタンユータラ ガキミタイナ コト ユータ。

(話者の子供の頃ならこんな表現だったらしい。)

Ⅲ. 総括 (まとめ)

以上の調査結果をもとに、当該地域の副助詞の実態をまとめてみると、次のような特徴が見出される。

1. 地域的な特徴の著しいものとして、「カテ」「ナト」「ヨカ」等が挙げられる。ただし、これらは当該地方に狭く限定されるものではなく、大阪周辺にまで広がりを見せている。以下に各語に関する詳細を述べる。
 - a. 「カテ」は添加・例示・提題・程度等、広範囲の意味を表すのに使われ、それぞれの使用場面において、「ヤッタテ」「カテ」「ヤッタカテ」の使い分けが見られる。このうち「ヤッタテ」は高年層中心に用いられ、それより下の層では「カテ(あるいはカッテ)」が用いられる。「ヤッタカテ」はそれら両者の融合形で、強調する意が込められている。
 - b. 例示の意を表す「ナト」は、「ナリト」の縮約形と考えられる。「お茶ナト」のように一般には名詞に接続するが、「飲むナト食べるナト好きにしたらエー。」のように動詞の連体形に接続して、選択を任せる意を表すこともある。ただし「ナト」も高年者中心に用いられ、それより若い層では「お茶デモ」「飲むカ食べるカ」のように、共通語と同じく「デモ」「カ」が用いられる。
 - c. 比較・強調の意を表す「ヨカ」は、「ヨリホカ・ヨリシカ・ヨリカ」の縮約形と考えられるが、かなり古風な表現で、今では比較では「ヨリ」、強調では「シカ」に取って代われようとしている。
2. 当該地方の音韻変化の規則に従って、副助詞にも次のような特徴的な変化が見られる。

- a. 促音化 コトヤラ>コッチャラ ドコヤラ>ドッキャラ
 - b. 撥音添加 ナド>ナンド
 - c. 語末音節の脱落 イツノマニヤラ>イツノマンヤ (モーッテッタ) トコロ>トコ
3. 多くの質問の中で複数の回答が得られたが、それらは新古の別を言ったものがほとんどであった。ちなみに<古>と記したものは、話者が使う、あるいは話者より上の年代で使うという回答を得た表現であり、それ以下の年層を中心に使用されるものを<新>で表している。
4. 係り結びの関係に立つ表現は文章以外では早く姿を消したが、「コソアレ」の形は口語の世界で生き延びたようで、当該地方においても「～コサレ」の形で老年女性に受け継がれている。しかし、今ではかなり古風な言い回しであり、今後を受け継がれる可能性は薄いように思われる。

(くろさきよしあき 園田学園女子大学)